

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

805-758

事務事業名	公民館水洗化事業(川路公民館水洗化工事)				財務会計上の位置付け	会計	1	款	10	項	5	目	4	細目	12	細々目	4	19予算額(千円)	
部等名	教育委員会	課等名	公民館		包含する細々目														
政策	9 市民と共に進める行政経営																		
施策	93 良質な行政サービスの提供																		
実施区分	18終了	会計	一般会計	環境調整会議	済み	関連計画 条例等	飯田市皆水洗化計画												
		事業期間	18	年度～	18		年度												

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	川路公民館、川路地区住民	川路地区住民	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			2102人	2100人		
	川路公民館専用部屋面積	川路公民館専用部屋面積	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			701.37㎡	701.37㎡		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
・今まで使用していた男女のトイレを水洗にすることにより、より地区住民が衛生的で快適に公民館を利用でき、地区住民がより多く公民館に集うようになる。	川路公民館利用者数	18目標	13000人	最終目標		
		18実績	13549人	19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・川路公民館1階にあるトイレ9組(男大便秘器2、男小便器3、女大便秘器3、身障者用1)を水洗化する。 ・既存施設の改修工事であり、給排水衛生設備工事を併せて実施する。	・業者選定(競争入札)後、改修工事を行う。 ・改修内容(1階改修工事面積 462.99㎡) ・仮設工事、左官・タイル工事、木工事・建具工事、塗装工事、内装工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事 以上 6,825,000円	施設改修必要箇所 トイレ水洗化必要箇所の内実施箇所	9箇所
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	6,825	
事業費計(A)	6,825	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 120	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	429	0
	トータルコストA+B	7,254	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値				
	・地育力を高める生涯学習の推進 ・公民館利用者の利便性を図る ・地域コミュニティーの核としての集会施設の充実 市役所が行うサービスが良好に提供される	施設としての充実度 排水への下水つなぎ込み必要箇所(3部屋)のうち実施箇所(3部屋)	現状値	1	19実績		
			20実績		21実績		
			22実績		23目標		
	市役所が提供するサービスに市民が満足している割合	市役所が提供するサービスに市民が満足している割合	現状値	61.5	19実績		
			20実績		21実績		
		22実績		23目標		75	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
飯田市皆水洗化計画に基づき、川路地区においても公共下水の計画が順次進んできた。利用者からも施設の老朽化からトイレからも異臭が放っているとの苦情もあった。平成17年度より地元の要望もあり、平成18年度には公民館として予算要望により川路公民館を水洗化することになった。	・当施設は、公民館であると同時に支所も併設されており地区のコミュニティーセンターでもより多くの住民が集う施設であり、より利便性の高い快適な利用ができる施設とする必要がある。 ・川路地区において、公共下水の計画は進行しており、公共施設も早急にその計画と整合性を図る必要があった。	・市民からも強い改修要望が出ていた。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 関連事業あり (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当でない (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	